

# かいぎ ろく 会議録

|                  |   |
|------------------|---|
| かいぎめいしょう<br>会議名称 | だい きさいわいくくみんかいぎ だい かいせんもんぶかい ちいきりよく く ぶかい<br>第5期幸区区民会議 第9回専門部会「地域力で暮らしやすいまち部会」  |
| にちじ<br>日時        | へいせい ねん がつ にち きん ごご じ 3 ふん ごご じ 4 ふん<br>平成27年7月24日(金) 午後6時30分～午後7時40分   |
| かいじょう<br>会場      | さいわいくやくしよ かいほー ー る<br>幸区役所3階ホール   |
| しゅつせきしゃ<br>出席者   | くみんかいぎいん ごじゅうおんじゆん<br>●区民会議委員(五十音順)<br>いとうよしみちいん おのすぐるいん たかはしのぞみいん なりかわしんいちいん ぶかいちょう ならばやしてのえいん<br>伊藤善通委員、小野偉委員、高橋希委員、成川慎一委員(部会長)、檜林照江委員、<br>まついせつこいん ふくぶかいちょう むらたせいこいん<br>松井節子委員(副部会長)、村田清子委員<br>じむきょく<br>●事務局<br>さいわいくやくしよ すいしんぶきかくか いまむらけんじかちょう よしおかだいすけかかりちょう すずきさとし<br>幸区役所まちづくり推進部企画課 今村健二課長、吉岡大輔係長、鈴木智<br>かかりちょう うじえゆりなしょくいん<br>係長、氏家侑里奈職員<br>かぶ けいかくぎじゆつけんきゅうしよ あべ あきら<br>(株)計画技術研究所 阿部正  |
| けつせきしゃ<br>欠席者    | あおきはるひこいん かみやおさむいん さとうれいぞういん にしもとまるどにあいん ふじいてるみいん<br>青木晴彦委員、神谷修委員、佐藤例藏委員、西本マルドニア委員、藤井照美委員   |
| ほうちょうしゃ<br>傍聴者   | にん<br>0人  |
| はいふしりょう<br>配布資料  | ぎじしだい<br>●議事次第<br>しりょう<br>●資料1 「幸区ご近所支え愛モデル事業」関係資料<br>しりょう<br>●資料2 これまでの経過と「地域コミュニティの活性化」に関する検討状況に<br>ついて<br>しりょう<br>●資料3 第5期幸区区民会議(第4回)における部会報告内容について(案)<br>しりょう<br>●資料4 「地域力で暮らしやすいまち部会」調査審議スケジュール(案)<br>しりょう<br>●資料5 「第5期幸区区民会議」スケジュール(案)<br>●その他1 第5期幸区区民会議第8回専門部会(地域力で暮らしやすいまち<br>部会)摘録<br>●その他2 第5期幸区区民会議委員・参与名簿  |
| ぎだい<br>議題        | 1 さいわいく きんじよささ あいも での じぎょう とりくみじょうきょう<br>「幸区ご近所支え愛モデル事業」の取組状況について<br>2 だい きさいわいくくみんかいぎ だい かい ぶかいほうこくないよう けんとう<br>第5期幸区区民会議(第4回)における部会報告内容の検討について<br>3 こんご すけじゆーる<br>今後のスケジュールについて   |
| けつていじこう<br>決定事項  | 1 ちいきこみゆにてい かつせいか こんご とりくみ ほうこうせい<br>「地域コミュニティの活性化」における今後の取組の方向性について<br>・資料2別紙のとおり、地域コミュニティの活性化につながる取組事例をまとめ、<br>ちょうないかい じちかい たいしやう じょうほうはっしん けんとう<br>町内会・自治会を対象に情報発信することを検討していく。<br>2 だい きさいわいくくみんかいぎ だい かい ぶかいほうこくないよう けんとう<br>第5期幸区区民会議(第4回)における部会報告内容の検討について<br>ぶかいほうこくないよう しりょう<br>・部会報告内容について、資料3のとおりとする。<br>はつびやうしや いとういん<br>・発表者は伊藤委員とする。<br>しりょう じむきょく あん さくせい ぶかいちょう ふくぶかいちょう はつびやうしや ちょうせい<br>・資料は事務局で案を作成し、部会長、副部会長、発表者と調整する。 |

## 1 「幸区ご近所支え愛モデル事業」の取組状況について

- 資料1について事務局から説明した。また、成川部会長から東小倉町内会における「幸区ご近所支え愛モデル事業」(以下「モデル事業」)の取組状況について説明した。
- モデル事業の取組状況と今後のスケジュールを共有した。

### 【主な意見】

- ・3つのモデル地区で地域特性があると思うが、特徴的なことはあるか。特に河原町13・14・15号棟部会ではどのような進捗状況か。  
→柳町部会は、まだ第1回部会を開催していないが、河原町13・14・15号棟部会は既に開催した。河原町13・14・15号棟部会は、高齢化率が50%を超えていることが特徴的といえる。また、団地内で見守りに取り組む住民主体の組織が既にあるため、その取組で把握している対象者の中から、モデル事業の対象者があがってくると想定される。(事務局)

## 2 「地域コミュニティの活性化」における今後の取組の方向性について

- 資料2について事務局が説明した。
- 資料2の内容等を踏まえて、地域コミュニティの活性化における今後の取組の方向性について、意見交換を行った。
- ・活性化の10の視点はこれまで収集した事例から整理したものと考えて良いか。  
→そのとおり。視点①と⑤に偏りがあるのは、今までの調査から得た情報を整理したためである。(事務局)
- ・子育て支援の具体的なニーズに対する町内会・自治会の取組、若い人の町内会・自治会への加入促進の2点については、活性化の10の視点に含まれていると考えて良いか。  
→そのとおり。(事務局)
- ・町内会・自治会の活性化策が網羅されていると思う。
- ・視点4～10では「関係機関の地域への期待」に関する記述がないが、なぜか。  
→関係機関(地域包括支援センター、地域子育て支援センター、障害者相談支援センター)へのヒアリング調査で確認した内容を整理し記載したため、視点4～10では記述がない。(事務局)
- ・メディアなどではたびたび、貧困母子世帯で起こる虐待等の痛ましい事件が取り上げられている。母子世帯であるといった情報は、民生委員は把握していても町内会・自治会では分からない場合がある(未加入世帯は特に)。
- ・区役所で母子健康手帳を配布するときに、町内会・自治会のお知らせと一緒に渡し

- ではどうだろうか。その際、自分がどこの町内会・自治会エリアで暮らしているかわからない人には教えてあげると良いのではないかな。
- ・高齢者や子どもがいる世帯であれば、町内会・自治会に加入してくれると思うが、若い夫婦は加入の必要性を感じないと思う。
  - ・マンション居住者は個人で町内会・自治会に加入することもあるが、管理組合一括で加入することもあるため、居住者自身が加入しているという意識を持っていない場合がある。
  - ・高齢者が「自分は町内会・自治会の行事などに参加できないので、退会する」といった話を聞くことがある。自分ひとりでいろいろなことができなくなるからこそ、地域のつながりが大切になってくるので、町内会・自治会に加入していることが重要だと思う。
  - ・町内会・自治会ごとにマンション、戸建住宅といった地域特性があり、活性化の方策はいろいろあると思う。町内会・自治会が資料2別紙で示すような視点をピックアップして取り組めるような仕組みづくりができると良い。
  - ・盆踊り、祭り、餅つき大会など町内会・自治会で実施しているイベント情報が町内会未加入者にも伝わるような効果的な情報提供ができると良い。
  - ・モデル事業では年度末に事例集をまとめる予定だが、「地域コミュニティの活性化」についても同じように何かまとめても良いのではないかな。町内会・自治会が個々に他地区の取組を把握している場合もあるが、網羅的に把握していることはなかなかない。
  - ・資料2別紙は、本部会の委員が見れば理解できる内容だが、そのまま町内会・自治会に配布しても、理解しづらいと思う。興味を持ってもらえるよう、見せ方に工夫が必要。
  - ・活性化の10の視点は分かりやすいが、もっと身近な言葉で表現できると良い。10より少なくしてもいいのではないかな。
  - ・10の視点のうち、視点1、視点4、視点5については、審議テーマ1「誰もが暮らしやすい街の実現に向けて」に関連する内容でもあり、提言の目玉になると思う。
  - ・視点3の事例については、障害者相談支援センターへのヒアリング調査で、横浜市の社協が主体となって取組んでいる「障がい児者避難所体験」について話を聞いた。(事務局)
  - ・災害時に、目の見えない人に掲示板で情報は伝えられないし、音の聞こえない人に放送連絡しても情報は伝わらないといったことがある。障害者の特性に合わせた対応が必要になるので、そのための訓練が必要だと思う。
  - ・区内で実施している防災訓練などで、障害者に参加してもらってはどうか。
  - ・健常者が障害者を理解するきっかけにもなると思う。障害者にとっても災害時に気付いてもらえるきっかけになり、双方にメリットがある。

- ・区役所では町内会・自治会の活動事例集を発行したことがあるのか。  
→区役所ではない。平成22年4月に「町内会・自治会ハンドブック（編集：川崎市町内会連合会、川崎市市民自治財団、川崎市）」事例集が発行されている。（事務局）

### 3 第5期幸区区民会議（第4回）における部会報告内容の検討について

- 資料3について事務局が説明した。
- 資料3の内容を踏まえて、第5期幸区区民会議（第4回）における部会報告内容について、意見交換を行った。
- 発表者は伊藤委員に決定した。

#### 【主な意見】

- ・資料3の①「誰もが暮らしやすい街の実現に向けて」の報告内容で、自助と互助が出てくるが、共助は入らないのか。  
→共助は防災分野と福祉分野で意味が異なる。地域包括ケアシステムにおける共助とは、介護保険などを意味することから、自助と互助としている。（事務局）
- ・本部会の委員以外は、モデル事業についてよく知らない人もいるので、うまく説明する必要がある。  
→ヒアリング調査等の報告の中で、モデル事業について報告する。（事務局）

### 4 今後のスケジュールについて

- 資料4及び5について事務局が説明した。
- 第3回企画運営部会は、平成27年8月24日（月）18：30からとする。成川部会長と松井副部会長が出席する。（場所：幸区役所3階ホール）
- 第4回区民会議は、平成27年8月31日（月）18：30からとする。（場所：幸市民館1階大会議室）
- 第10回専門部会は、平成27年9月29日（火）18：30からとする。（場所：幸区役所4階第5会議室）
- 第2回「幸区ご近所支え愛モデル事業」推進会議の日程等を連絡した。（日時：平成27年8月7日（金）9：30から。場所：幸区役所4階第2会議室）